

第6回
「就職したい企業・業種ランキング」
調査

2020年2月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社
<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第6回「就職したい企業・業種ランキング」調査

2. 調査方法

インターネット調査

3. 調査エリア

全国

4. 期間

2020年1月16日(木)～2020年1月30日(木)

5. 調査対象者

2021年3月卒業予定の大学3年生男女個人

6. 調査対象企業と選定方法

各業界の大手企業・組織 200社を抽出

7. 有効回収数

393 サンプル

8. 回答者の属性

性別・文理別

	文系	理系	合計
男性	98	75	173
女性	110	110	220
合計	208	185	393

地域

北海道	東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	合計
19	25	168	62	66	27	26	393

※地域は、現在の所在地を集計

1. 調査結果

[1] 「就職したい企業・業種ランキング」／ランキング結果

「就職したい企業・業種ランキング」のランキング1位は「地方公務員」(回答率 26.7%)であった。次いで「国家公務員」が2位(同 16.8%)、「グーグル(Google)」が3位(同 9.2%)となった。以下、4位「味の素」(同 6.9%)、5位に「アマゾン(Amazon)」(同 6.6%)、6位に「日本赤十字社」(同 6.4%)、「LINE」(同 6.4%)、8位に「明治」(同 5.1%)と続いた。

また、前回調査結果と比較したところ、2年連続で1位「地方公務員」、2位「国家公務員」、3位「グーグル(Google)」となり、TOP3は、依然として学生からの人気が高い結果となった。

業種としては、飲食料品製造業が6社(味の素、明治、キューピー、森永乳業、日清食品、サントリー)と最も多い結果となった。次いで、医療関連(日本赤十字社、大塚製薬、武田薬品)、およびIT関連(グーグル(Google)、アマゾン(Amazon)、LINE)が3社となった。いずれも学生にとって日常生活で身近な商品・サービスを扱っている企業に人気が集中していることが結果として表れている。(図表A)

官民別の就職先の志望割合としては、半数以上が「国内民間企業」(回答率 59.0%)を希望する一方で、約5人に1人は「公務員」(同 20.4%)を希望する結果となった。特に「公務員」の志望割合は、理系より文系、女性より男性において高い傾向が見受けられた。(図表B)

[2] 「就職したい企業・業種ランキング」／選択理由

就職したい企業を選択した理由について自由回答で尋ねたところ、1位の「地方公務員」については、「安定している」、「地元で貢献したい」といった回答が多く見られ、2位の「国家公務員」では「安定している」、「国で貢献したい」といった回答が見られた。3位の「グーグル(Google)」では「働きやすそう」、「最先端の企業」といった回答が見られた。また上位 20 社中6社がランクインした飲食料品製造業に関しては、「研究に力を入れている」、「新しい商品を企画したい」といった回答が見られた。(図表C)

ランキング上位企業における選択理由の多くが、企業・組織の規模を背景とした安定性や事業内容への興味や憧れ、新商品の開発等、専門性が発揮できる場としての理由が多く見られた。

[3] 「就職したい企業・業種ランキング」／文理別比較

就職先として望む会社を文系・理系別に集計したところ、文理ともに「地方公務員」(回答率 文系 25.0%、理系 28.6%)、「国家公務員」(同 文系 12.0%、理系 22.2%)がトップ2を占めた。

文系学生においては、航空運輸業(全日本空輸(ANA)や日本航空(JAL))や旅行サービス業(ジェイティービー(JTB)やエイチ・アイエス(HIS))がランクインしており、航空運輸会社や旅行会社などの趣味性の強い業種に人気が集まっているのに対して、理系学生においては、飲食料品製造業が7社(味の素、日清食品、明治、キューピー、森永乳業、サントリー、ヤクルト)、医療関連が4社(日本赤十字社、大塚製薬、武田薬品、アステラス製薬)がランクインしており、自身が大学等で学んできた専門知識を活かせる業種への就職を希望している傾向がうかがえる。(図表D)

[4] 就職したい企業・業種ランキング／男女比較

就職先として望む会社を男女別に集計したところ、男性が望む就職先のランキング1位は、「地方公務員」(回答率 24.9%)であった。次いで「国家公務員」(同 20.8%)が2位、「グーグル(Google)」が3位(同 12.1%)となった。

一方、女性が望む就職先のランキング1位は、「地方公務員」(回答率 28.2%)となり、次いで「国家公務員」(同 13.6%)が2位、「味の素」(同 10.9%)が3位となっている。(図表E)

男性は、「鉄道業」や「電気機器製造業」のほか、「グーグル(Google)」、「アマゾン(Amazon)」、「アップル(Apple)」などのGAFAと呼ばれる先進の米大手IT関連企業に対する人気が高い一方で、女性においては、飲食料品製造業7社(味の素、明治、キューピー、森永乳業、日清食品、サントリー、ヤクルト)、医療関連4社(日本赤十字社、大塚製薬、武田薬品、アステラス製薬)と2業種が大半を占め、人気が集中する傾向が表れている。

男女のトップ20に共通する企業は、20社中7社のみの結果となり、男女による人気企業の違いが明確となった。

[5] 「就職したい企業・業種ランキング」／公務員志望詳細

公務員を志望する学生に、さらに職種を細分化して志望を訪ねたところ、「国家公務員(その他行政職)」(回答率 11.2%)が1位となり、次いで「地方公務員(市役所勤務、その他行政職)」(同 7.9%)、「地方公務員(小中高校教員、保育士)」(同 6.4%)の順となった。地方公務員の職種としては、「市役所勤務」や「教員、保育士」、「県庁勤務」が上位にランクインしていることから、地域の行政や教育に貢献したい意向がうかがえる。

男女別に見ると、男性は女性に比べて「地方公務員(市役所勤務、その他行政職)」(回答率 男性 9.2%、女性 6.8%)、「地方公務員(県庁勤務)」(同 男性 7.5%、女性 3.6%)の人気が高く、男性の方がより地域の行政に貢献意欲が高い結果が表れた。一方、女性は男性に比べて「地方公務員(小中高校教員、保育士)」(同 男性 4.0%、女性 8.2%)、「地方公務員(公的医療機関勤務)」(同 男性 1.7%、女性 8.2%)の人気が高く、女性は教育や医療に対する志望の高さがうかがえる。(図表F)

さらに、細分化した公務員種別を含めたランキングを集計したところ、1位「国家公務員(その他行政職)」、3位「地方公務員(市役所勤務、その他行政職)」、6位「地方公務員(小中高校教員、保育士)」、9位「地方公務員(県庁勤務)」、「地方公務員(公的医療機関勤務)」、11位「国家公務員(中央省庁勤務)」、44位「地方公務員(警察・消防)」と、トップ10に5種別、トップ50に「国家公務員(裁判官、裁判所職員)」を除く7種別がランクインしており、細分化しても公務員の人気の高さが表れる結果となった。(図表G)

[6] 「就職したい企業・業種ランキング」／業種別

就職したい業種について集計したところ、1位が「公的機関・その他」(回答率 15.8%)となり、次いで2位が「IT・情報通信」(同 8.9%)、3位が「食品・農業」(同 7.9%)となり、就職したい企業トップ20にランクインした業種と一致している様子がうかがえる。(図表H)

逆に、就職したくない業種についても同様にアンケートを行ったところ、1位が「金融・法人向けサービス」(同 14.2%)、2位が「小売・外食」(同 14.0%)、3位が「自動車・重機械」(同 9.4%)となった。(図表I)

近年、地方銀行の再編化や不適切な融資等ニュースになっている「金融・法人向けサービス」や、労働環境の問題が挙げられている「小売・外食」に関しては、就職先として、敬遠されがちな職種であることがうかがえる。

[7] 「就職したい企業・業種ランキング」/就職先選定方法

就職活動における学生の行動基準について調査したところ、以下のとおりとなった。

就職先の選定において気になる点では、「給与額」(回答率 59.8%)が1位、「残業時間」(同 34.9%)が2位、「福利厚生」(同 30.3%)が3位となり、以下、「雇用形態(正社員・契約社員など)」(同 27.2%)、「勤務地」(同 24.7%)が続いた。特に、「給与額」へ関心の高さが際立つ結果となった。(図表J)

さらに、「給与額」について、最低限実現したい生涯最高年収を調査したところ、「500万円以上 600万円未満」(同 15.0%)が最も多く、「400万円以上 500万円未満」(同 12.7%)が2位、「600万円以上 700万円未満」(同 12.2%)が3位となった。民間企業の平均年収 441万円(平成 30年民間給与実態統計調査)を満たす 400万円以上 700万円未満に回答が集中していることを考慮すると、前回までと同様に、「給与額」は平均年収以上の水準であればよいと考えている学生が多く存在していることがわかる。また、文系よりも理系、女性よりも男性の方が、高い年収を望む傾向が強い様子が見られる。(図表K)

就職先の選定における情報収集手段としては、「企業のホームページ・パンフレット」(同 69.2%)が圧倒的に多く、次いで「SNS」(同 27.0%)、「友人・知人」(同 24.9%)、「上記以外のインターネット情報」(同 22.9%)、「親」(同 11.7%)と続いた。(図表L)

[8] 「就職したい企業・業種ランキング」/就職活動状況

就職活動に備えた活動としては、「企業へのインターンシップの参加」(回答率 64.4%)が最も多く、「OB/OG 訪問」(同 49.4%)、「合同企業説明会などイベントへの参加」(同 33.1%)と続いた。すべてのセグメントにおいて「企業へのインターンシップの参加」の割合の高さが際立つほか、今回2位「OB/OG 訪問」(同 前回 22.7%→今回 49.4%)が大幅に上昇する結果となった。(図表 M)

就職活動を開始する時期について調査したところ、「大学4年生」(回答率 37.4%)が最も多く、次いで「大学1、2年生」(同 16.8%)が2位となり、大学3年生前期(9月)以前の割合(同 39.2%)が前回(同 28.2%)から 11.0ポイント増加した。例年、就職活動の開始時期である3月頃から就職活動を開始する学生が多く見られたが、就職活動の開始時期を自由とする「就活ルール」の廃止により、学生の就職活動開始時期が早期化している様子が見られる。(図表 N)

「理想の就職活動開始時期および内定希望時期」について調査を行ったところ、開始時期としては、「大学3年生前期(35.6%)」と「大学3年生後期(34.4%)」の回答率が高く、内定希望時期としては、「大学4年生前期(68.2%)」の回答率が高い結果となった。就職活動開始後、半年～1年間の間に、自らに適した仕事を見つけたい様子がうかがえる。(図表 O)

また、実際の就職活動において、「大学1、2年生」から就職活動を実施している学生は、3人に2人が内々定を獲得していることから、就職活動期間が長ければ、内々定を取得できる割合が高いということが結果に表れている。(図表 P)

最後に就職先を選定する際の意味決定手段について尋ねたところ、「親の意見を参考にしながら、自分の意思で決める」、「自分の意志のみで決める」(同 38.2%)が1位となり、次いで「友人・知人の意見を参考にしながら、自分の意思で決める」(同 16.0%)が3位となった。(図表 Q)

2. 総評

2018年10月に、経団連は2021年春以降の新卒者を対象に就職活動の開始時期を自由とする「採用選考に関する指針」いわゆる「就活ルール」の廃止を決定した。就職活動開始時期の早期化や就職活動期間の長期化が予想される中、政府(厚生労働省)の発表では、2020年1月の有効求人倍率は1.60倍と、過去3番目に高い水準となった。依然として、「売り手市場」と言われている就職活動において、「就活ルール」の廃止が学生の就職活動にどのような影響を与えているのか、学生達がどのような思考のもとで就職活動を行っているのかを調査したのが、「就職したい企業・業種ランキング」アンケートである。

本アンケートの結果によれば、「地方公務員」と「国家公務員」が1位、2位を占めたほか、民間企業では、「IT関連企業」や「飲食料品製造業」に人気が集まる結果となった。特に、飲食料品製造業においては、上位20社中6社がランクインしており、[2]において、「新商品の研究・開発に携わりたい」という意見のとおり、学業で得た専門性や知識、経験を日常生活に身近な商品の研究開発に活かせる職場として人気を得ていると言えよう。

国家公務員・地方公務員を希望する割合は、前回調査と比較して6.1ポイント低下(前回49.6%→今回43.5%)していることから、学生は民間企業に対して関心が高まっている様子がうかがえる。[8]において、OB/OG訪問の活用が急増している点を考慮すると、就活ルールの廃止により、企業はインターンシップを開催する前の早い時期からOB/OG訪問を積極的に活用しながら学生にアプローチしていることが考えられる。学生にとって、理想の就職活動開始時期は早期化し、理想の就職活動期間も長期化していることから、企業の採用活動の早期化に合わせ、学生自身の就職活動への意識も変化していると考えられる。

就職活動ルールの廃止により、就職活動が短期決戦から長期決戦へ変化している中、企業は合同説明会や就活支援セミナー等の就活イベントによって短期間で多くの学生を囲い込む戦略に加えて、OB/OG訪問やインターンシップを活用し、学生に対して早期かつ個別にアプローチしていく必要性も高まっている。企業にとっては、OB/OG訪問やインターンシップを活用することによ

て、自社の魅力や専門知識を活かせる職場であることを学生にアピールして、優秀な学生を確保する機会となる。一方、学生にとっても、企業の魅力や職場の実態を確認する機会となるため、積極的に取り組む価値があると考えられる。

これから試行錯誤を繰り返しながら、自らが生涯にわたって勤めるべき企業に巡り合えるよう、学生達のこれからの健闘に期待したい。

図表A 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト20

(n=393/複数回答)

今回 順位	変動		就職先	都道府県	業種	回答率
1	→	(+0)	地方公務員	-	公務	26.7%
2	→	(+0)	国家公務員	-	公務	16.8%
3	→	(+0)	グーグル(Google)	東京都	インターネット付随サービス業	9.2%
4	↑	(+21)	味の素	東京都	食料品製造業	6.9%
5	↑	(+1)	アマゾン(Amazon)	東京都	無店舗小売業	6.6%
6	↓	(▲1)	日本赤十字社	東京都	医療事業	6.4%
6	↑	(+38)	LINE	東京都	インターネット付随サービス業	6.4%
8	↓	(▲1)	明治	東京都	食料品製造業	5.1%
9	↑	(+7)	日本郵便	東京都	郵便・物流事業	4.1%
9	↑	(+35)	花王	東京都	化粧品製造業	4.1%
9	↓	(▲5)	大塚製薬	東京都	医薬品製造業	4.1%
12	↑	(+13)	キューピー	東京都	食料品製造業	3.8%
12	↑	(+10)	森永乳業	東京都	食料品製造業	3.8%
12	↑	(+20)	日清食品	東京都	食料品製造業	3.8%
12	↑	(+26)	サントリー	大阪府	飲料品製造業	3.8%
12	↑	(+13)	セコム	東京都	警備業	3.8%
17	↓	(▲1)	ソニー	東京都	電気機器製造業	3.6%
18	↓	(▲7)	武田薬品	東京都	医薬品製造業	3.3%
18	↓	(▲10)	東日本旅客鉄道(JR東日本)	東京都	鉄道業	3.3%
18	↓	(▲6)	全日本空輸(ANA)	東京都	航空運輸業	3.3%

図表B 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 官民別の志望割合

(n=393/単一回答)

順位		全体	文系	理系	男性	女性
1	国内民間企業	59.0%	61.5%	56.2%	62.4%	56.4%
2	公務員	20.4%	22.1%	18.4%	22.5%	18.6%
3	起業したい	5.1%	3.8%	6.5%	6.4%	4.1%
4	外資民間企業	4.3%	5.8%	2.7%	3.5%	5.0%
-	その他	11.2%	6.8%	16.2%	5.2%	15.9%

※背景色有りは、上位2項目

図表C 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト20 選択理由

順位	企業名	選んだ理由	性別・文理
1	地方公務員	安定している。絶対になくならない職業のため	男性・文系
1	地方公務員	安定してそうだから	男性・文系
1	地方公務員	安定してるから	男性・文系
1	地方公務員	憧れていたから	女性・文系
1	地方公務員	福祉職があり安定してるから。	男性・文系
1	地方公務員	給料が安定してるから	女性・文系
1	地方公務員	小さい頃からの夢だから	女性・文系
1	地方公務員	子どもと関わる仕事がしたいから。	女性・文系
1	地方公務員	図書館で働きたいため	女性・文系
1	地方公務員	地元で公務員として就職したいから	女性・文系
1	地方公務員	なりたい仕事があるから	女性・文系
1	地方公務員	安定した就労を行いたいため。	女性・文系
1	地方公務員	決まった時間に帰りたいから	男性・文系
1	地方公務員	地元で働きたい	女性・理系
1	地方公務員	やりたいことがあるから	男性・文系
1	地方公務員	子どもと関わる仕事がしたい保育の大学に通っているから	女性・文系
1	地方公務員	保育士になりたいから	女性・文系
1	地方公務員	資格がいかせるから	女性・理系
1	地方公務員	昔からいいと思うから	女性・理系
1	地方公務員	身近に市民のために貢献したいから	女性・理系
1	地方公務員	収入が安定していて、勤務年数によって給料が確実に上がっていった	女性・理系
1	地方公務員	転勤が少ないから	男性・文系
2	国家公務員	安定しているから	女性・理系
2	国家公務員	国の政策について興味があるため	女性・理系
2	国家公務員	給与が安定しているから	女性・理系
2	国家公務員	安定してると思ったから	男性・理系
2	国家公務員	性格的に公務員に向いているから	男性・理系
2	国家公務員	国のために頑張りたい	男性・文系
2	国家公務員	安定してるから	女性・理系
2	国家公務員	日本に貢献するため	男性・文系
2	国家公務員	安定した職につきたいから	女性・理系
2	国家公務員	給料が良いから	男性・文系
2	国家公務員	保育士志望のため	男性・文系
2	国家公務員	魅力を感じるから	男性・文系
2	国家公務員	安泰だから	女性・理系
3	グーグル(Google)	知名度があるから	男性・理系
3	グーグル(Google)	気になるから	女性・文系
3	グーグル(Google)	最も信頼できる企業だから	女性・理系
3	グーグル(Google)	はたらきやすそうだから	男性・文系
3	グーグル(Google)	私の生活の中で欠かせないもの	女性・理系
3	グーグル(Google)	最先端の企業だから	男性・文系
4	味の素	有名企業だから	女性・文系
4	味の素	食品に興味がある	女性・文系
4	味の素	大企業だから	女性・文系
4	味の素	多くの商品を生み出す会社であり、管理栄養士の資格を活かせそうだ	女性・理系
4	味の素	研究に力を入れてるから	男性・理系
5	アマゾン(Amazon)	よく使っていて好きな企業	男性・文系
5	アマゾン(Amazon)	将来有望	女性・文系
5	アマゾン(Amazon)	やりがいがありそうだから	男性・理系
5	アマゾン(Amazon)	上場企業だから	男性・理系
6	日本赤十字社	親近感が持てるので。	男性・文系
6	日本赤十字社	心理学を活かした仕事に就きたいため	女性・文系
6	日本赤十字社	人の役に立ちたいから	女性・理系
6	日本赤十字社	医療に携わりたい	女性・理系
6	日本赤十字社	国際協力が魅力的であるから。	女性・理系
6	日本赤十字社	様々な活動を行っているから	女性・理系

順位	企業名	選んだ理由	性別・文理
7	LINE	有名	男性・文系
7	LINE	よく使うから	女性・文系
7	LINE	かっこいい	女性・文系
7	LINE	大手だから	女性・文系
7	LINE	面白そう	女性・文系
7	LINE	働く環境がいい感じがするから	男性・理系
8	明治	働いている人が良さそう	女性・理系
8	明治	お菓子が好きだから	女性・文系
8	明治	商品が好きだし、労働環境も良さそうだから	女性・文系
8	明治	名前がよく知られている大企業で安心感があるから。	女性・文系
8	日本郵便	アルバイトを長期間していたから	女性・理系
8	日本郵便	暇そうだから	男性・文系
10	花王	ホワイト企業と聞いたから。	女性・文系
10	花王	キャンペーンで当選品をくれるから	女性・文系
10	花王	生物系かつ製品を作りたいから	男性・理系
11	大塚製薬	勉強してきたことが生かされるから	女性・理系
11	大塚製薬	自分の資格を生かせるから	女性・理系
11	大塚製薬	製薬会社で働きたいため。	女性・理系
11	大塚製薬	医療関係だから。新薬の開発をしたい。	女性・理系
11	大塚製薬	大手の製薬企業だから	男性・理系
11	大塚製薬	薬の開発に関わりたい	女性・理系
12	日清食品	福利厚生が良いから	女性・理系
12	日清食品	昔、家でよく食べていてはまったのが日清食品で、身近に感じたから。	男性・文系
12	日清食品	やりがいがありそう。	女性・理系
12	日清食品	新しい商品を企画したい	男性・文系
12	日清食品	福利厚生やお給料が良い	女性・理系
12	日清食品	大手なので	男性・理系
12	森永乳業	とても知名度があり、この企業の製品に、いつもお世話になっているか	女性・理系
12	森永乳業	特に乳製品の製造に興味があるから。	女性・理系
12	森永乳業	本社、支社の位置。提供品のグループ。	女性・理系
12	サントリー	WEBで調べていく限り社内間の雰囲気良かった。	女性・理系
12	キューピー	親しみがあるから	女性・理系
16	武田薬品	製薬にいきたいから	女性・理系
16	武田薬品	薬の製造、新薬にかかわりたいから	男性・理系
16	東日本旅客鉄道(JR東日本)	子どもだけでなく、家族みんなで楽しめるような鉄道イベントを企画した	男性・文系
16	東日本旅客鉄道(JR東日本)	安定している	男性・文系
16	東日本旅客鉄道(JR東日本)	鉄道が好きで、大企業だから	男性・文系
16	東日本旅客鉄道(JR東日本)	興味ある	男性・理系
16	東日本旅客鉄道(JR東日本)	身近な企業だから	男性・理系
16	全日本空輸(ANA)	いい会社	女性・文系
16	全日本空輸(ANA)	航空業界に興味がある	女性・文系
16	全日本空輸(ANA)	国際的に活躍できる仕事がしたいから。	女性・文系
16	ソニー	精密機器などに興味があるから	男性・文系
16	ソニー	製造販売している商品に魅力を感じているから。	男性・文系
16	ソニー	大企業であり、通勤に難がない範囲に会社があるため	男性・理系
16	セコム	地元になるから	女性・文系
16	セコム	魅力的	男性・文系
16	セコム	良い	男性・理系

図表D 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 文理別ランキング

(n=393/複数回答)

文系			理系		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	25.0%	1	地方公務員	28.6%
2	国家公務員	12.0%	2	国家公務員	22.2%
3	グーグル(Google)	10.6%	3	日本赤十字社	10.3%
4	アマゾン(Amazon)	7.7%	4	味の素	8.1%
5	LINE	7.2%	4	大塚製薬	8.1%
6	日本郵便	6.3%	6	グーグル(Google)	7.6%
7	味の素	5.8%	7	武田薬品	7.0%
8	明治	5.3%	8	アステラス製薬	6.5%
9	全日本空輸(ANA)	4.8%	9	日清食品	5.9%
9	ジェイティービー(JTB)	4.8%	10	アマゾン(Amazon)	5.4%
11	エイチ・アイ・エス(HIS)	4.3%	10	LINE	5.4%
12	花王	3.8%	12	明治	4.9%
12	森永乳業	3.8%	13	花王	4.3%
12	サントリー	3.8%	13	キューピー	4.3%
12	セコム	3.8%	13	ソニー	4.3%
12	東日本旅客鉄道(JR東日本)	3.8%	13	旭化成	4.3%
12	タカラトミー	3.8%	17	森永乳業	3.8%
18	キューピー	3.4%	17	サントリー	3.8%
18	日本航空(JAL)	3.4%	17	セコム	3.8%
18	バンダイ(BANDAI)	3.4%	17	ヤクルト	3.8%
18	エイベックス(Avex)	3.4%	17	トヨタ自動車	3.8%
			17	日本IBM	3.8%

※背景色有りは、文理で共通している企業

図表E 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 男女別ランキング

(n=393 / 複数回答)

男性			女性		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	24.9%	1	地方公務員	28.2%
2	国家公務員	20.8%	2	国家公務員	13.6%
3	グーグル(Google)	12.1%	3	味の素	10.9%
4	アマゾン(Amazon)	9.2%	4	日本赤十字社	9.5%
5	LINE	6.9%	4	明治	7.3%
6	日本郵便	6.4%	6	グーグル(Google)	6.8%
7	東日本旅客鉄道(JR東日本)	5.2%	7	LINE	5.9%
7	セコム	5.2%	7	キューピー	5.9%
9	ソニー	4.6%	7	森永乳業	5.9%
9	任天堂	4.6%	10	アマゾン(Amazon)	4.5%
9	アップル(Apple)	4.6%	10	花王	4.5%
12	日本IBM	3.5%	10	大塚製薬	4.5%
12	花王	3.5%	10	日清食品	4.5%
12	大塚製薬	3.5%	10	サントリー	4.5%
12	旭化成	3.5%	10	オリエンタルランド	4.5%
12	富士フイルム	3.5%	16	全日本空輸(ANA)	4.1%
12	日立製作所	3.5%	16	ヤクルト	4.1%
12	タカラトミー	3.5%	18	武田薬品	3.6%
12	東京急行電鉄(東急)	3.5%	19	アステラス製薬	3.2%
※背景色有りは、男女で共通している企業			19	山崎製パン	3.2%
			19	エイチ・アイ・エス(HIS)	3.2%
			19	コーセー	3.2%
			19	カネボウ化粧品	3.2%

図表 F 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 公務員への志望度詳細

(n=393 / 単一回答)

順位		全体	文系	理系	男性	女性
1	国家公務員(その他行政職)	11.2%	6.7%	16.2%	13.9%	9.1%
2	地方公務員(市役所勤務、その他行政職)	7.9%	9.1%	6.5%	9.2%	6.8%
3	地方公務員(小中高校教員、保育士)	6.4%	7.7%	4.9%	4.0%	8.2%
4	地方公務員(県庁勤務)	5.3%	4.3%	6.5%	7.5%	3.6%
4	地方公務員(公的医療機関勤務)	5.3%	1.9%	9.2%	1.7%	8.2%
6	国家公務員(中央省庁勤務)	5.1%	4.3%	5.9%	5.8%	4.5%
7	地方公務員(警察・消防)	1.8%	1.9%	1.6%	2.3%	1.4%
8	国家公務員(裁判官、裁判所職員)	0.5%	1.0%	0.0%	1.2%	0.0%

※背景色有りは、上位3項目

図表 G 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト 100

(n=393/複数回答)

順位	企業名	回答率	順位	企業名	回答率
1	国家公務員(その他行政職)	11.2%	44	東京急行電鉄(東急)	1.8%
2	グーグル(Google)	9.2%	44	エイベックス(Avex)	1.8%
3	地方公務員(市役所勤務、その他行政職)	7.9%	44	ソニー・ミュージックエンタテインメント	1.8%
4	味の素	6.9%	44	近畿日本ツーリスト	1.8%
5	アマゾン(Amazon)	6.6%	44	地方公務員(警察・消防)	1.8%
6	日本赤十字社	6.4%	56	土業関係事務所	1.5%
6	LINE	6.4%	56	キッコーマン	1.5%
6	地方公務員(小中高校教員、保育士)	6.4%	56	グリコ	1.5%
9	地方公務員(県庁勤務)	5.3%	56	麒麟ビール	1.5%
9	地方公務員(公的医療機関勤務)	5.3%	56	ワコール	1.5%
11	明治	5.1%	56	京セラ	1.5%
11	国家公務員(中央省庁勤務)	5.1%	56	キヤノン	1.5%
13	日本郵便	4.1%	56	富士通	1.5%
13	花王	4.1%	56	サンリオ	1.5%
13	大塚製薬	4.1%	56	三菱商事	1.5%
16	キューピー	3.8%	56	伊藤忠商事	1.5%
16	森永乳業	3.8%	56	資生堂	1.5%
16	日清食品	3.8%	56	三菱UFJ銀行	1.5%
16	サントリー	3.8%	69	マルハニチロ	1.3%
16	セコム	3.8%	69	伊藤園	1.3%
21	ソニー	3.6%	69	凸版印刷(トッパン)	1.3%
22	武田薬品	3.3%	69	ブリヂストン	1.3%
22	東日本旅客鉄道(JR東日本)	3.3%	69	日本マイクロソフト	1.3%
22	全日本空輸(ANA)	3.3%	69	川崎重工業	1.3%
25	アステラス製薬	3.1%	69	オリンパス	1.3%
25	任天堂	3.1%	69	東京電力	1.3%
27	ヤクルト	2.8%	69	テレビ朝日	1.3%
27	トヨタ自動車	2.8%	69	フジテレビジョン	1.3%
27	オリエンタルランド	2.8%	69	講談社	1.3%
30	山崎製パン	2.5%	69	集英社	1.3%
30	アップル(Apple)	2.5%	69	東宝	1.3%
30	ジェイティービー(JTB)	2.5%	69	東海旅客鉄道(JR東海)	1.3%
30	全国農業協同組合連合会(JA全農)	2.5%	69	西日本旅客鉄道(JR西日本)	1.3%
34	日本IBM	2.3%	69	ニトリ	1.3%
34	旭化成	2.3%	85	プロクター・アンド・ギャンブル(P&G)	1.0%
34	タカラトミー	2.3%	85	大成建設	1.0%
34	楽天	2.3%	85	積水ハウス	1.0%
34	日本航空(JAL)	2.3%	85	東レ	1.0%
34	エイチ・アイ・エス(HIS)	2.3%	85	TBS	1.0%
40	三菱化学	2.0%	85	博報堂	1.0%
40	富士フィルム	2.0%	85	帝国ホテル	1.0%
40	日立製作所	2.0%	92	ゴールドマンサックス	0.8%
40	日本テレビ	2.0%	92	国際石油開発帝石(INPEX)	0.8%
44	アディダス	1.8%	92	鹿島建設	0.8%
44	カルビー	1.8%	92	アサヒビール	0.8%
44	コーセー	1.8%	92	大日本印刷(DNP)	0.8%
44	カネボウ化粧品	1.8%	92	新日鉄住金	0.8%
44	バンダイ(BANDAI)	1.8%	92	IHI	0.8%
44	ヤマハ	1.8%	92	小松製作所(コマツ)	0.8%
44	NTTデータ	1.8%	92	日本電気(NEC)	0.8%

図表 H 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職したい業種ランキング

(n=393/単一回答)

順位	業種	全体	文系	理系	男性	女性
1	公的機関・その他 (公務員、JA、士業など)	15.8%	16.3%	15.1%	17.9%	14.1%
2	IT・情報通信 (IT情報サービス、通信サービスなど)	8.9%	6.7%	11.4%	13.3%	5.5%
3	食品・農業 (食品、飲料、農産物など)	7.9%	6.7%	9.2%	3.5%	11.4%
4	運輸・物流 (鉄道、空運、海運、陸運など)	5.1%	7.2%	2.7%	6.9%	3.6%
5	金融・法人向けサービス (銀行、証券、クレジット、保険など)	4.6%	7.7%	1.1%	6.9%	2.7%
5	生活用品・サービス (医薬品、化粧品、スポーツ用品など)	4.6%	4.3%	4.9%	2.9%	5.9%
7	エンタメ・レジャー (音楽、映画、ゲーム、テーマパークなど)	4.3%	7.2%	1.1%	5.8%	3.2%
8	エネルギー・資源・素材 (石油、電力、ガス、鉄鋼、化学など)	3.6%	1.4%	5.9%	4.6%	2.7%
9	小売・外食 (コンビニ、スーパー、百貨店、外食など)	2.8%	3.8%	1.6%	1.7%	3.6%
10	自動車・重機械 (自動車、自動車部品、二輪車など)	2.5%	1.4%	3.8%	4.6%	0.9%
10	電機・精密 (白物家電、パソコン、電子部品など)	2.5%	2.9%	2.2%	4.0%	1.4%
12	メディア (広告、新聞、新聞、出版、印刷など)	2.3%	4.3%	0.0%	1.2%	3.2%
13	建設・不動産 (建設、不動産、建材など)	1.8%	2.9%	0.5%	2.3%	1.4%
13	卸売 (総合商社、専門商社)	1.8%	2.4%	1.1%	2.3%	1.4%

※背景色有りは、上位3項目

図表 I 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職したくない業種ランキング

(n=393/単一回答)

順位	業種	全体	文系	理系	男性	女性
1	金融・法人向けサービス (銀行、証券、クレジット、保険など)	14.2%	14.9%	13.5%	14.5%	14.1%
2	小売・外食 (コンビニ、スーパー、百貨店、外食など)	14.0%	13.5%	14.6%	16.2%	12.3%
3	自動車・重機械 (自動車、自動車部品、二輪車など)	9.4%	10.1%	8.6%	6.4%	11.8%
4	運輸・物流 (鉄道、空運、海運、陸運など)	7.6%	5.8%	9.7%	5.8%	9.1%
5	IT・情報通信 (IT情報サービス、通信サービスなど)	6.4%	5.8%	7.0%	6.4%	6.4%
5	メディア (広告、新聞、新聞、出版、印刷など)	6.4%	6.7%	5.9%	9.2%	4.1%
7	エンタメ・レジャー (音楽、映画、ゲーム、テーマパークなど)	5.1%	5.8%	4.3%	5.8%	4.5%
8	電機・精密 (白物家電、パソコン、電子部品など)	4.6%	3.8%	5.4%	5.2%	4.1%
9	建設・不動産 (建設、不動産、建材など)	4.3%	4.3%	4.3%	4.6%	4.1%
9	公的機関・その他 (公務員、JA、士業など)	4.3%	4.3%	4.3%	5.2%	3.6%
11	エネルギー・資源・素材 (石油、電力、ガス、鉄鋼、化学など)	3.1%	3.4%	2.7%	1.7%	4.1%
12	食品・農業 (食品、飲料、農産物など)	2.0%	2.4%	1.6%	2.3%	1.8%
13	卸売 (総合商社、専門商社)	1.3%	1.9%	0.5%	1.7%	0.9%
14	生活用品・サービス (医薬品、化粧品、スポーツ用品など)	1.0%	0.5%	1.6%	1.2%	0.9%

※背景色有りは、上位3項目

図表 J 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定において気になる点

(n=393/複数回答)

順位		全体	文系	理系	男性	女性
1	給与額	59.8%	55.8%	64.3%	55.5%	63.2%
2	残業時間	34.9%	37.0%	32.4%	31.2%	37.7%
3	福利厚生	30.3%	28.8%	31.9%	23.1%	35.9%
4	雇用形態(正社員・契約社員など)	27.2%	28.4%	25.9%	26.0%	28.2%
5	勤務地	24.7%	25.5%	23.8%	22.0%	26.8%
6	サービス残業の有無	12.5%	12.0%	13.0%	15.0%	10.5%
7	離職率	12.2%	13.5%	10.8%	15.6%	9.5%
7	労働時間の規則性	12.2%	11.5%	13.0%	13.3%	11.4%
9	教育・研修制度	9.4%	5.8%	13.5%	8.1%	10.5%
10	転勤や異動の頻度	7.9%	9.1%	6.5%	8.7%	7.3%
11	ノルマの有無・内容	6.6%	9.6%	3.2%	7.5%	5.9%
12	社内イベント・飲み会の頻度	4.1%	4.3%	3.8%	5.8%	2.7%
13	職種(ホワイトカラーorブルーカラー)	2.5%	2.9%	2.2%	4.0%	1.4%
14	その他	7.1%	7.7%	6.5%	8.1%	6.4%

※背景色有りは、上位3項目

図表 K 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 最低限実現したい生涯最高年収

(n=393/単一回答)

No.		全体	文系	理系	男性	女性
1	300万円未満	7.1%	8.2%	5.9%	5.8%	8.2%
2	300万円以上400万円未満	9.2%	8.7%	9.7%	6.4%	11.4%
3	400万円以上500万円未満	12.7%	13.5%	11.9%	10.4%	14.5%
4	500万円以上600万円未満	15.0%	14.9%	15.1%	9.8%	19.1%
5	600万円以上700万円未満	12.2%	12.5%	11.9%	10.4%	13.6%
6	700万円以上800万円未満	7.9%	7.7%	8.1%	11.0%	5.5%
7	800万円以上900万円未満	8.1%	9.1%	7.0%	6.9%	9.1%
8	900万円以上1,000万円未満	7.1%	5.8%	8.6%	9.2%	5.5%
9	1,000万円以上1,500万円未満	10.7%	9.1%	12.4%	16.8%	5.9%
10	1,500万円以上2,000万円未満	1.3%	1.0%	1.6%	2.3%	0.5%
11	2,000万円以上2,500万円未満	1.0%	1.0%	1.1%	0.0%	1.8%
12	2,500万円以上	7.6%	8.7%	6.5%	11.0%	5.0%

※背景色有りは、上位3項目

図表 L 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定における情報収集手段

(n=393/複数回答)

順位		全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	企業のホームページ・パンフレット	69.2%	70.9%	66.8%	71.9%	66.5%	71.4%
2	SNS	27.0%	23.9%	28.8%	24.9%	29.5%	25.0%
3	友人・知人	24.9%	24.5%	23.6%	26.5%	27.7%	22.7%
4	その他のインターネット情報	22.9%	28.2%	23.1%	22.7%	21.4%	24.1%
5	親	11.7%	10.0%	12.0%	11.4%	11.6%	11.8%
6	会社四季報	11.5%	10.2%	13.9%	8.6%	15.0%	8.6%
7	新聞	6.6%	7.0%	7.2%	5.9%	9.2%	4.5%
8	2ちゃんねる	5.1%	5.0%	5.3%	4.9%	8.1%	2.7%
9	企業の株価	5.1%	6.6%	2.9%	7.6%	7.5%	3.2%
9	企業の格付	3.6%	5.2%	2.4%	4.9%	5.8%	1.8%
11	有価証券報告書	3.3%	4.1%	5.3%	1.1%	6.4%	0.9%
12	会社番付なう	1.8%	3.2%	1.0%	2.7%	2.3%	1.4%
-	その他のインターネット情報	6.1%	7.0%	5.8%	6.5%	7.5%	5.0%

図表 M 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職活動に備えての活動状況

(n=393/複数回答)

順位		全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	企業へのインターンシップへの参加	64.4%	65.0%	62.0%	67.0%	66.5%	62.7%
2	OB/OG訪問	49.4%	22.7%	51.9%	46.5%	47.4%	50.9%
3	合同企業説明会などイベントへの参加	33.1%	45.9%	39.4%	25.9%	37.0%	30.0%
4	就職活動支援セミナーへの参加	29.3%	32.3%	26.0%	33.0%	24.9%	32.7%
5	業界・企業研究	21.1%	36.4%	21.2%	21.1%	19.1%	22.7%
6	アルバイト	20.6%	17.4%	19.7%	21.6%	23.7%	18.2%

※背景色有りは、上位3項目

図表 N 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 実際の就職活動開始時期

(n=393/単一回答)

No.		全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	大学1、2年生	16.8%	12.5%	18.8%	14.6%	18.5%	15.5%
2	大学3年生 4月～6月	10.4%	7.3%	12.5%	8.1%	9.8%	10.9%
3	大学3年生 7月～9月	12.0%	8.4%	12.5%	11.4%	12.7%	11.4%
4	大学3年生 10月～12月	9.7%	13.0%	11.5%	7.6%	11.0%	8.6%
5	大学3年生 1月～3月	13.7%	24.5%	16.8%	10.3%	9.2%	17.3%
6	大学4年生	37.4%	34.3%	27.9%	48.1%	38.7%	36.4%

※背景色有りは、上位2項目

図表 O 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 理想の就職活動開始希望時期・内定希望時期

(n=393/単一回答)

順位	理想の就職活動開始時期	今回		内定希望時期	今回	
		今回	前回		今回	前回
1	大学1、2年生	13.0%	10.4%	大学1、2年生	1.5%	0.9%
2	大学3年生前期	35.6%	25.0%	大学3年生前期	1.3%	1.1%
3	大学3年生後期	34.4%	43.0%	大学3年生後期	12.0%	6.1%
4	大学4年生前期	9.7%	16.8%	大学4年生前期	68.2%	71.4%
5	大学4年生後期	7.4%	4.8%	大学4年生後期	17.0%	20.5%

※背景色有りは、上位1項目

図表 P 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職活動開始時期別 就職活動進捗状況

(n=393/単一回答)

No.	実際の就職活動開始時期	全体	内々定を取得している企業が1社以上ある	採用面接に進んでいる企業が1社以上ある	インターンシップに参加している	企業説明会に参加している	自己分析、業界・企業研究をしている
1	大学1、2年生	16.8%	66.7%	39.3%	18.1%	36.4%	25.0%
2	大学3年生 4月～6月	10.4%	16.7%	32.1%	14.3%	3.0%	19.4%
3	大学3年生 7月～9月	12.0%	8.3%	10.7%	32.4%	9.1%	5.6%
4	大学3年生 10月～12月	9.7%	0.0%	17.9%	17.1%	21.2%	13.9%
5	大学3年生 1月～3月	13.7%	8.3%	0.0%	12.4%	24.2%	22.2%
6	大学4年生	37.4%	0.0%	0.0%	5.7%	6.1%	13.9%

※2020年1月時点での就職活動進捗状況

※背景色有りは、上位2項目

図表 Q 第6回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定における意思決定手段

(n=393/単一回答)

No.		全体	文系	理系	男性	女性
1	親の意見を参考にしながら、自分の意思で決める	38.2%	38.5%	37.8%	30.6%	44.1%
2	自分の意向のみで決める	38.2%	39.4%	36.8%	46.2%	31.8%
3	友人・知人の意見を参考にしながら、自分の意思で決める	16.0%	13.9%	18.4%	16.8%	15.5%
4	友人・知人の意見を最重要視して決める	4.3%	5.3%	3.2%	3.5%	5.0%
5	親の意見を最重要視して決める	3.3%	2.9%	3.8%	2.9%	3.6%

※背景色有りは、上位2項目